

令和7年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の概要

施設名称	筑摩児童センター	所管課 外線番号	こども育成課 (0263-32-3261)						
所在地	松本市筑摩１－１３－２２	設置年月	平成7年4月1日						
施設設置目的	地域の児童健全育成の拠点施設として、児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的としています。								
施設概要・設備	鉄筋コンクリート造平屋建て、延床面積362.24㎡ 集会室、図書室、遊戯室、静養室								
指定管理者名（選定方式）	社会福祉法人　松本市社会福祉協議会（公募）								
指定期間	令和６年４月１日から令和１１年３月３１日								
指定管理者の 主な業務	・ 児童の安全管理、健康管理、情緒の安定、児童への適切な遊びの指導 ・ 施設の維持管理 ・ 放課後児童健全育成事業								
利用料金制の導入	なし　委託料方式								
施設の利用状況	利用区分等	利用目標	利用実績	対目標比（％）	対前年比（％）				
	年間延べ利用人数	13,000	21,703	166.9%	116.3%				
	放課後児童健全育成事業 登録児童数（月平均）	75	118.8	158.4%	122.0%				
	（特記事項）								
事業収支 （単位：円）	指定管理者収支（令和７年度）				市の収支				
	収入 （歳入）	年度計画額		収支実績額		令和７年度決算		令和６年度決算	
		項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
		指定管理料	22,701,000	指定管理料	19,953,223	利用料	3,846,300	利用料	3,128,500
		【内訳】		【内訳】		国・県補助金	12,400,000	国・県補助金	10,827,000
		児童館運営	22,701,000	児童館運営	19,953,223	【内訳】		【内訳】	
						放課後児童健全育成事業	12,400,000	放課後児童健全育成事業	10,827,000
	計	22,701,000	計	19,953,223	計	16,246,300	計	13,955,500	
	支出 （歳出）	人件費	21,885,000	人件費	17,458,498	指定管理料	20,802,611	指定管理料	18,085,031
		【内訳】		【内訳】		【内訳】		【内訳】	
		児童館運営	21,885,000	児童館運営	17,458,498	児童館管理	20,802,611	児童館管理	18,085,031
		事業費	642,000	事業費	500,853				
		【内訳】		【内訳】					
		児童館運営	642,000	児童館運営	500,853				
		事務費	845,000	事務費	589,497				
		【内訳】		【内訳】					
	児童館運営	845,000	児童館運営	589,497					
助成金等	94,000	助成金等	94,000						
【内訳】		【内訳】							
児童館運営	94,000	児童館運営	94,000						
計	23,466,000	計	18,642,848	計	20,802,611	計	18,085,031		
損益	-765,000		1,310,375		差引	-4,556,311	差引	-4,129,531	
（特記事項）									

2 市（所管課）による評価

指定管理者の事業計画書（提案書）の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価するものです。
評価の手段は、実績報告書（毎月）及び事業報告書（年度終了時）の点検並びに立入検査（随時）等によるものです。

評 価 の 基 準		
A	（1. 0）	高いレベルで実施されており、高く評価できる。
B	（0. 7）	事業計画書（提案書）どおり適切に実施されており、問題は見られない。
C	（0. 5）	事業計画書（提案書）どおり概ね実施されていたが、一部に不適切な部分を確認され、改善に向け対応中または対応済みである。
D	（0. 0）	不適切な部分を確認されたので、改善を指示したが、未対応または改善の見込みがなく、指定管理者の取り消しを含め検討する必要がある。

小計
65.7

大項目	中項目	評 価 項 目	配点	評価	評価の根拠
管理基準対応	市民の平等利用	1 合理的な理由なく利用者を制限や優遇するなど、市民の平等な利用を妨げていないか	2	B	公平性が確保されており、アンケートからも問題は見られない。
	職員の労働条件	2 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の正当な労働条件を確保しているか	2	B	労働条件調査項目を確認したところ、業務従事者の適正な労働条件は確保されている。
	危機管理対策	3 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	2	B	関係機関への連絡及び事故状況の把握、記録、市への連絡と報告書の作成まで、一連で緊急連絡網が作成されており、問題はない。
		4 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応しているか	2	B	利用者の事故を防止するための対策の工夫が施設に見られる。
	個人情報保護	5 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護について、書類・電子データ等のセキュリティ対策を講じているか	2	B	端末にウイルス対策を講じている。また、記憶媒体や個人情報の台帳は、書棚を施錠し管理している。
	情報公開	6 情報公開や監査請求を理解し、適切な対応を行っているか	2	B	社会福祉協議会の会計事務取扱によって経理の管理をしており、情報公開、監査請求に対処できる内容となっている。
管理能力	団体の概要	7 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	4	B	決算を確認した結果、経営状況に問題となる点は見当たらず健全な経営を行っている。
		8 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	2	B	市内周辺の事業所において、サポート・バックアップを常に行える体制が確立されている。
	管理運営	9 市が示す設置目的及び施設運営方針を理解し、仕様書に示した業務を適切に行っているか	5	B	設置目的、管理運営業務を的確に理解した事業計画となっており、適切に計画が履行されている。
		10 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか	3	B	報告書類も適切に作成され、緊急時の連絡等も密に行われるなど、責任を持って管理運営に携わっている。
	組織・体制	11 職員体制や配置人員は適切であるか	3	B	勤務表及び日報で確認したところ、人員配置、シフト体制、勤務時間ともに概ね適正である。
		12 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	2	A	館長、支援員の指揮系統、責任権限が明確になっている。全常勤職員が放課後児童支援員認定資格を取得している。
	働き方改革の推進	13 働き方改革に積極的に取り組んでいるか	2	B	業務の効率化に努め、年次休暇の計画的な取得が図られている。
	職員研修・人材育成	14 職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか	2	B	研修会への参加を定期的に行っている。
		15 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理が行われているか	3	B	館長による領収書や帳簿類、調達時の現物の確認が行われ、適切に処理されている。
		16 業務の第三者委託の範囲、委託先は適切に実施されているか	2	B	警備、消防設備保守点検業務等の管理業務の一部について、第三者との当該契約に係る契約書等を確認した結果、適切に実施されている。
		17 業務報告や事業報告を適切に作成し、期限までに報告されているか	3	B	実績報告書及び事業報告も適切に作成され、期限までに提出されており、問題はない。
	安全管理	18 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練は実施されているか	4	B	緊急時の対応フローが館内に明記されており、緊急時対応が業務従事者に徹底されていることから、問題はない。
施設の運営	業務内容	19 管理区域、業務範囲についての的確に把握し、適切に管理運営を行っているか	4	B	日常の巡回、清掃等が適切に行われており、管理区域、業務範囲についての的確に把握されていることから、問題はない。
		20 施設の設置目的を把握し、施設の効用を最大限に発揮する事業運営を行っているか	5	B	設置目的、管理運営業務を的確に理解した事業計画となっており、運営委員会で協議のうえ、適切に計画が履行されている。
		21 年間の事業量が適切に実行されているか	3	B	仕様書に基づいた営業時間で運営がされており、また、事業計画書に基づき適切に事業が実施されており、問題はない。
	地域との連携	22 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組んでいるか	2	A	地域の団体等と連携を取りながら事業を実施しており、児童にとって有意義な体験機会を提供している。
	利用促進	23 施設の利用率の向上に努めているか	4	B	児童館だより等により広く情報を発信するなど、施設の利用促進のための取組みをしている。
	利用者サービス向上	24 利用者の利便性や満足度を高めるため、具体的な方策を講じているか	5	A	地区ボランティアや民生児童委員、子ども会育成会などと連携し自主事業を実施しており、利用者からも好評を得ている。
	障がい者等への配慮	25 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理がなされているか	3	B	事業計画に基づき、接遇・接客研修が行われており、障害児、児童、親子連れに対し配慮した対応ができています。
	苦情・要望等への対応	26 利用者アンケート等を適切に実施し、苦情や要望、意見等に適切に対応しているか	3	B	利用者ニーズを把握するためにアンケート調査を実施し、概ね好意的な内容であった。
	セルフモニタリング	27 セルフモニタリングが適切に行われているか	3	B	セルフモニタリングや自己評価が適切に実施されている。
	環境への配慮	28 施設運営における環境負荷の低減に向けた具体的な目標を定め、認定取得等、その達成に向けた取組みが講じられているか	2	B	電気、ガス・灯油、ガソリン、紙等の資源・エネルギー使用料削減目標に向けて、取組みや工夫を行っている。
		29 経費削減や業務効率化に取り組んでいるか	5	B	経費削減や業務効率化に取り組んでいる。
経済性	事業報告及び決算	30 支出総額は事業計画書の範囲内か、又事業計画とおり収入が確保できたか（又は、利用者を確保できたか）	4	B	事業計画書どおりの事業を実施している。

3 利用者による評価

(協定書で指定管理者に実施を義務付けている利用者アンケートの内容)

利用者アンケート	実施時期	令和7年9月～11月
	調査対象	利用児童の保護者
	調査方法	アンケート用紙への回答(22人回答)
調査結果	別紙のとおり	
利用者からの意見 要望・苦情等	別紙のとおり	

4 指定管理者による自己評価

令和7年度の 自己評価	・傾聴を基本として、こどものトラブルや困りごとに耳を傾けた。同時に、保護者からの相談にも傾聴の心を持って対応することができた。 ・職員がお互いにフォローし合いながら同じ方向を向いて仕事に携わることができた。 ・こども主体の取り組みができた。(なつまつり、ドッジボール大会など) ・大きな要望や苦情はなかったが、常に利用者の声に耳を傾けて一緒に考える対応を心掛けてきた。
要望・苦情への 対応状況	
今後の目標	・利用者数が大幅に増えるので、こどもたちの安全安心を今まで以上に心掛けて、職員が連携しながら同じ方向を向いて進んでいけるようにしたい。また、こどもがリラックスできるような場面も作っていききたい。 ・職員の業務の分量が過多にならないように業務の見直しを心掛けて、円滑に業務が進むようにする。

5 市(所管課)による総合評価

総合評価 (4段階評価) の基準		
A	(1.0)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等を含め、総合的観点から高く評価できる。
B	(0.7)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等も含め、総合的観点から標準を満たしていると評価できる。
C	(0.5)	アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容等、標準を満たしているが、今後改善を必要とするところがある。
D	(0.2)	改善すべき点が多く、標準に達しないと判断する。

【自主事業を実施している場合の評価】

提案書に基づく事業計画に基づき、概ね適切に事業が実施されている。

【個別施設ごとのテーマに対する評価 ※設定がある場合】

【総合的な評価】

・デイサービス利用者による折り紙教室や絵本等の読み聞かせなど地域の多様な団体等と連携して事業実施しており評価できる。

・複合施設の強みを生かして、引き続き、福祉ひろばやこどもプラザとの交流事業を企画されたい。

・アンケート結果は概ね利用者の満足を得るものであり、安全に配慮した管理が行われている。

・引き続き利用者の安全に配慮し、子どもたちが基本的な生活習慣を身につけるための援助や、遊びを通じて自立するための手助けなどに取り組まされたい。また、「松本市子どもの権利に関する条例」に基づき、利用児童と保護者に寄り添い、多様化する児童館へのニーズに応えられるよう、柔軟であり堅実な運営を期待したい。

配点 評価

10 B

点数 7

合計点数

72.7

判断結果

適 正

判断の基準

75点以上	「良好」
60点以上75点未満	「適正」
45点以上60点未満	「要改善」
45点未満	※「不可」

※「不可」の場合は、指定管理者の取消処分を含め、早急な改善対応の検討が必要

【別紙】

3 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	令和7年9月～11月	
	調査対象	利用児童の保護者	
	調査方法	アンケート用紙への回答（22人回答）	
調査結果	1 子どもさんは児童センターのことを家の方に話しますか。		
		筑摩児童センター	社協全体
	よく話す	45%	48%
	時々話す	50%	36%
	ほとんど話さない	0%	4%
	2 子どもさんが話してくれる内容で多いものはなんですか。（複数回答可）		
		筑摩児童センター	社協全体
	楽しかった友達との出来事	86%	65%
	悲しかった友達との出来事	50%	30%
	嬉しかった職員との出来事	18%	34%
	悲しかった職員との出来事	5%	8%
	おやつについて	36%	24%
	その他	0%	13%
	3 子どもさんが楽しみにしていることは何ですか。（複数回答可）		
		筑摩児童センター	社協全体
工作教室	41%	54%	
お話の会	14%	5%	
親子バス遠足	9%	17%	
こども企画	41%	30%	
センター祭り	32%	41%	
季節の行事	55%	61%	
利用者からの意見 要望・苦情等	・笑顔で丁寧に対応していただき、ありがたい。 ・先生たちのお陰でこどもが楽しく安心して利用している。 ・ほめたことや注意したことなどその都度センターでの様子を教えてもらえ嬉しいし、ありがたい。安心だ。 ・挨拶をしてくれるのが嬉しい。 ・優しく見守りあたたかい支援をいただいている。 ・上の学年の児童や先生たちを交えての交流があるようで、不安なく預けられる。 ・役員をしているが負担なく活動できていて、助かっている。 ・こどもが先生役になって工作をするなど、こどもの自主性が育つような企画運営に感謝している ・自分の気持ちを言えない性格だが、センターに行くことを嫌がらず楽しんでいくのは、心地よい場所だからだと思う。外遊びを充実させてほしい。 ・ドッジボール時にトラブルが多いと感じる。トラブルになったときに制止できるよう目を光らせて注意指導してほしい。 ・静かに過ごせるスペースが欲しい。「好きに過ごせない。疲れる。」と、こどもが言うて行きたがらない事がある。 ・駐車場の白線を引き直してほしい。 ・カウンター窓口とあんしんでんしゃよとのカードリーダーが同じ場所なので、混み合って不便を感じる時がある。改善してほしい。 ・玄関先の臭いや換気などが気になる。 ・放課後教室のような形で習い事ができるとありがたい。地域のボランティアの方、或いは有料でも良い。		